

令和6(2024)年9月11日

高等学校長 殿
中等教育学校長 殿
社会科(地歴・公民科)主任 殿

神奈川県高等学校教科研究会会長 田代 宗弘
(県立相模原高等学校長)
同社会科部会長 藤元 貴嗣
(県立愛川高等学校長)
同社会科部会理事長 三橋 健彦
(公印省略)

社会科部会秋季研究大会ならびに講演会のお知らせ(依頼)

秋涼の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。日頃より社会科部会の活動に対しご理解とご支援を賜り、心よりお礼申し上げます。

さて、社会科部会秋季研究大会ならびに講演会を次のとおり開催いたします。校務ご多用の折りは存じますが、貴職下関係職員の出張につきまして、ご高配を賜りますようお願い申し上げます。

なお、本研究大会は神奈川県教育委員会との共催であることを申し添えます。

1 日時 令和6(2024)年10月23日(水) 13:45~17:00(受付 13:15~13:45)

2 会場 県立かながわ県民センター ホール(JR・私鉄「横浜駅」西口 徒歩5分)

住所 横浜市神奈川区鶴屋町2-24-2

交通 JR・私鉄「横浜駅西口」または「きた西口」より徒歩5分

3 内容(時程の詳細は、2ページ目をご参照ください)

①研究発表及び協議

・公民分科会「3年目の公共とこれから」

金子 幹夫(県立三浦初声高等学校)

・歴史分科会「歴史総合から日本史探究へー流れの歴史から構造の歴史へー」

生田 幸士(県立藤沢清流高等学校)

・神奈川県教育局高校教育課指導主事による講評

②講演会

「地理教育におけるコンピテンシーの育成とフィールドワーク」

【講師】 池 俊介

【講師紹介】

早稲田大学(教育・総合科学学術院)教授、博士(学術)(早稲田大学)。
著書に『地理教育フィールドワーク実践論』(編著, 学文社 2022年)、『持続可能な社会に向けての教育カリキュラム: 地理歴史科・公民科・社会科・理科・融合』(共著・担当「ポルトガルのESDにおける教科学習の役割と課題」古今書院 2021年)、『社会科教育と災害・防災学習ー東日本大震災に社会科はどう向き合うかー』(共著, 日本社会科教育学会編・明石書店 2018年)、『ポルトガルを知るための55章』(共編, 明石書店 2011年)など多数。

以下裏面

【講師の先生からのメッセージ】

近年、学習指導要領でも「資質・能力」の育成が目指されるなど、コンピテンシー（領域を超えて機能する汎用性の高い資質・能力）への関心が高まっています。しかし、教科横断的な汎用的スキルが一人歩きすると、活動主義・形式主義に陥る危険性があるため、地理歴史科・公民科を始めとする教科の学習の中でこそコンピテンシーの育成を図る必要があるように思います。そこで今回は、フィールドワークという具体的な学習活動を取り上げて、「使える」レベルの学力の習得のためにはどのような学習が必要なのか、という問題について考えてみたいと思います。同時に、フィールドワークが難しい外国の歴史や地理について学ぶ際に重要となる「景観写真」の読取りの意義についても、ポルトガルの事例を用いてお話しできればと思います。

4 時 程

- 13:15～13:45 受付
- 13:45～13:50 開会の言葉・部会長挨拶
- 13:50～14:50 研究発表及び協議
- 14:50～15:00 講評(神奈川県教育局高校教育課指導主事)
- 休憩
- 15:10～16:50 講演会
- 16:50～17:00 閉会・諸連絡

6 その他

出張旅費につきましては、誠に恐縮ですが貴校にてご負担くださいますようお願いいたします。

以 上

問合せ先
県立湘南高等学校 定時制 三橋 健彦
TEL 0466-26-4151 (代)
Eメール mitsuhashi-takehiko@pen-kanagawa.ed.jp